



今月新しく入りました。

●一般の本

／学問 (作=山田詠美) / 贖罪 (作=湊かなえ) / 目線 (作=天野節子) / ころころ (作=畠中恵) / 八つ花ごよみ (作=山本一力) / あとの祭り 親友はいます (作=渡辺淳一) / オールミッション2 (作=山田悠介)

●子どもの本

／おもちゃのかくれんぼ (作=桑原伸之) / おおなべこなべ (作=森山 京) / ペネロペとふたごちゃん・ペネロペのカーニバル (作=アン・グットマン) / によろへびやのへびくん (作=すとうあさえ) / ころくんとなぞのおばけ (作=なかやみわ) / ひろとチロのなつまつり (作=成田雅子)

中でもこの本が **オススメ** です。

デンデラ

作=佐藤友哉



50人の老婆が、奇妙なコミュニティを形成する現在の姥捨て山「デンデラ」。ある者は自分を捨てた村を恨み、ある者は生きながらえたことを喜び、ある者は穏やかな死を願う。さまざまな感情が渦巻く隠れ里は、一匹の巨大龍の襲来により、修羅場と化した。この世の果てにある、この世のすべて、それが「デンデラ」。

わたしはあなたをあいしています

作=宮西達也



やさしい言葉よりもあたたかい言葉よりも、心からの想いを届けたい…大人気! ティラノサウルスシリーズ第6弾。むかしむかし、おむかし。きょうりゅうたちは、世界中に住んでいました。はるか遠くまでやってきたティラノサウルスが出会ったのは、言葉の通じない3匹のホマロケファレでした。



どうするどうするあなのなか

作=きむら ゆういち

ねずみ3匹と2匹のやまねこの夫婦が穴の中へ落ちてしまった。穴は深くて出られない。体の大きさは違っても命の大きさは同じです。5匹で知恵を出し、深い穴から出る方法を推理していく。お互いの命をかけた話



松本清張あらかると

作=阿刀田 高

今年(2010年)の北九州市は松本清張生誕百年記念行事が数々行われています。実作者の目から見た巨匠松本清張の名作の裏側や「謎」の解き明かし。清張の作品を読んだからこの本を読まれることにしたことはありませんが、

し合いが、ああでもない、こうでもない、と続く。面白い絵を見て一緒に脱出方法を考えていくのも楽しいと思います。

読んでない読者にもメッセージを送れるよう工夫されている。清張は、タイトルのつけ方が実にうまい作家である。付録の映像化リストも貴重である。

春の桜、夏の花、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちがだからこそ、読みたくなる「一句」の本があります。シリーズ「一句の本」の本があります。8月は「推理」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は金子美代子さん(鞍手町文庫連絡会)です。



Dr 鈴木の

町立病院スタッフ
からの健康
アドバイスです。

調子はいかが？

町立病院 ☎42局1231番



最近のどや声の調子が悪く、タバコもやめました。しかし、のどの調子は良くなりません。のどのにも癌ができることがありタバコを吸う人に多いと聞きますが……。(61歳・男性)

【のどや首の癌について】

耳鼻咽喉科・頭頸部外科で扱う悪性腫瘍(癌)は、上顎癌、鼻腔癌、口腔癌(舌癌など)、上・中・下咽頭癌、喉頭癌、唾液腺癌(耳下腺癌や顎下腺癌など)、甲状腺癌など多岐にわたります。つまり鎖骨より上の脳と眼を除いた全ての範囲の癌が対象となるわけです。こうした癌をまとめて頭頸部癌と呼んでいます。

【頭頸部癌の特徴】

中高年の男性に発生する 경우가多く、喫煙や多量の飲酒が危険因子となります。特に喉頭癌の発生率は喫煙によって20倍にも跳ね上がります。



頭頸部癌の予防にはこうした危険因子、特に禁煙に関する啓蒙が必要です。また頭頸部癌のもう1つの特徴は、頸部リンパ節転移が多いという点です。

【症状】

初期の症状は癌が発生した場所によって異なりますが、のどや声の調子が悪いなどの場合は、中咽頭、下咽頭、もしくは喉頭の癌の可能性があらうと思われます。癌が小さいうちは痛みを伴うことは少なく、出血などのはつきり目立つ兆候もないのが普通です。また、痛みなどの症状がなく、首のリンパ節の腫れが出ることもあります。

【治療】

癌の治療には、手術、放射

線、抗癌剤があり、これらを単独あるいは組み合わせで用いることから集学的治療と呼ばれています。このため小規模な病院では治療が困難であり、医療スタッフや設備のそろった医学部附属の大病院や大きな総合大病院での治療が必要となります。一般の方々から見た耳鼻咽喉科医のイメージは耳・鼻・のどを診る医者ですが、大きな病院の耳鼻咽喉科医は、取り扱う範囲がずっと広く治療も大がかりとなり、耳鼻咽喉科・頭頸部外科という名称を掲げる病院も増えてきています。

頭頸部癌の発生部位は、呼吸する、食べる、話す、といった人体のきわめて重要な機能を担っているため、可能な限り機能を保ちながら治療を行うことが必要になります。早

期の癌は放射線と抗癌剤だけで治せることもあります。進行癌では再建術を含めた手術が必要になることも多くなります。再建術には、胸や肩の皮膚と筋肉、腕の皮膚、肋骨、腹部の筋肉、大腿の皮膚、小腸、足の骨など体のいろいろな部分が使われ、外科や形成外科の協力を得て行います。また、唾液腺癌と甲状腺癌は放射線があまり効かないので手術が第1選択治療となります。

いずれにしても他の領域の癌と同様に、早期発見・早期治療が肝要ですので、気になる症状がある場合は早めに耳鼻咽喉科医にご相談ください。



【アドバイザー】

鈴木秀明さん・すずきひであき・昭和58年東北大学医学部を卒業後、ワシントン大学などに留学。平成8年国立仙台病院耳鼻咽喉科医長などを経て、平成15年11月、産業医科大学耳鼻咽喉科教授に就任。51歳

頭頸部癌の発生部位は、呼吸する、食べる、話す、といった人体のきわめて重要な機能を担っています。気になる症状がある場合は耳鼻咽喉科医で診察を受けてください。